

海外生活 レポート 47



近所に住んでいる子供たちにいつも遊んでもらっています。(撮影時のみマスクを外しています)

田口 雄太さん

ルワンダ 東部県ルワマガナ郡に赴任、川崎市出身
JICA青年海外協力隊

任期:2021年10月~2023年10月

*本来は2020年4月に派遣予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で1年半後にやっとルワンダで活動を開始できました。

1年半越しのルワンダ

2021年10月から、アフリカのルワンダにて青年海外協力隊として活動をしています。PCインストラクターとして、ルワンダ東部に位置するルワマガナ郡の職業訓練校でパソコンの基本的操作、及びWord、EXCEL、PowerPointに関する授業を行っています。

実は、私の本来の派遣時期は1年半前の2020年4月。派遣直前に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、派遣は中断。国内での待機を余儀なくされました。しかし、ルワンダは2021年春から派遣が再開され、待ちに待ったルワンダでの活動を開始することができています。

アフリカの奇跡

ルワンダというと何を連想するでしょうか。ルワンダはアフリカ東部に位置する内陸国です。面積は四国の1.5倍しかありません。そして、標高が約1500mと高く、「千の丘の国」と言われています。特産品はコーヒー。そして、世界で3か国でしか生息していない野生のマウンテンゴリラと出会える国の一つです。



活動先の職業訓練校。様々な職種を学べます。

で、日本の高校1~3年生に当たる生徒が通っています。学校では建築、電気、裁縫など、色々な専門職種を学ぶことができます。その中で、私は全生徒を対象にICT(情報通信技術)の授業をしています。



学校のパソコンルーム。

学校にはパソコンが12台あり、1台を生徒2~3人でシェアしながら学ぶ中で、パソコンの操作方法を教えています。生徒間でパソコンの習熟度に大きな差があるため、教え方に難しさを感じているところです。しかし、生徒たちはフレンドリーで、授業に真摯に取り組んでくれるため、毎日楽しく活動できています。

活動先では、外国人の自分を歓迎してくれており、問題を抱えていないか常に気にかけてくれています。そして、仲良くなる一番のきっかけはスポーツ。ルワンダは特にサッカーが人気で、老若男女に関わらず、全力で楽しむ姿には、スポーツに国境はないことを実感します。

人々の温かさに触れながら、ルワンダ生活を楽しむ毎日です。

念願のルワンダライフ



首都キガリの街並み。街を一望できます。

何より、よく知られているのは、1994年に起こった民族対立によるジェノサイド(大虐殺)ではないでしょうか。100日間で100万人以上が亡くなったと言われています。私がルワンダを知るきっかけになったのもジェノサイドでした。

それから28年、現在のルワンダは「アフリカの奇跡」と言われるほど、急激な経済成長を遂げています。特にITやテクノ

ロジー分野では、国を挙げて海外の企業を誘致し、IT立国を目指しています。このような環境の中で活動でき、PCインストラクターとして、とてもやりがいを感じています。

職業訓練校での活動

私が活動している職業訓練校は全校生徒が約400人の学校



同僚の先生たちとサッカー。フルタイムでの試合は当たり前。

INFORMATION



ルワンダ共和国

面積 26,300km² 公用語 ルワンダ語、英語、フランス語、スワヒリ語
人口 1,263万人
首都 キガリ